

2018年度 シラバス(授業内容)

昼間部 1 年 テーマパーク科 テーマパークコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

- (1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付けること科目構成です。
- (2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2018年度 昼間部1年 テーマパーク科テーマパークコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	8	9	5	5	27
	専門科目	15	21	21	21	78
合計		23	30	26	26	105

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期				
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	
共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15									
	脳力開発Ⅰ	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15									
	ビジネスコミュニケーションⅠ	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーションⅡ	講・演	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講・演	1	15	
	Let's Speak EnglishⅠ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	15	
	キャリアデザインⅠ	演	2	30	キャリアデザインⅡ	演	5	75	キャリアデザインⅢ	演	1	15					
	パソコン	演	1	15													
	就職筆記対策Ⅰ	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15	卒業研究Ⅰ	演	2	30	卒業研究Ⅱ	演	2	30	
	小計		8	120	小計		9	135	小計		5	75	小計		5	75	
必修科目	Theme Park EnglishⅠ	演	1	15	Theme Park EnglishⅡ	演	1	15	Theme Park EnglishⅢ	演	2	30	Theme Park EnglishⅣ	演	2	30	
	観光業界ガイド	講	1	15	中国語Ⅰ	講	1	15	中国語Ⅱ	講	1	15	中国語Ⅲ	講	1	15	
	基礎ダンス演習	演	1	30	ダンス演習Ⅰ	演	2	30	ダンス演習Ⅱ	演	2	30	ダンス演習Ⅲ	演	2	30	
	レクリエーション演習Ⅰ	演	2	30	レクリエーション演習Ⅱ	演	2	30	レクリエーション演習Ⅲ	演	2	30	レクリエーション演習Ⅳ	演	2	30	
	バルンアートⅠ	演	2	30	バルンアートⅡ	演	2	30	ボイストレーニングⅠ	演	2	30	ボイストレーニングⅡ	演	2	30	
	接客手話Ⅰ	演	1	30	接客手話Ⅱ	演	1	30	接客手話Ⅲ	演	1	30	接客手話Ⅳ	演	1	30	
	エンターテインメントメイクⅠ	演	1	15	エンターテインメントメイクⅡ	演	1	15	エンターテインメントメイクⅢ	演	2	30	エンターテインメントメイクⅣ	演	2	30	
	テーマパーク研究Ⅰ	演	1	15	テーマパーク研究Ⅱ	演	1	15	エンターテインメント演習Ⅰ	演	2	30	エンターテインメント演習Ⅱ	演	2	30	
	パークオペレーションⅠ	講・演	2	30	パークオペレーションⅡ	講・演	2	30	フードセールス演習Ⅰ	演	2	30	フードセールス演習Ⅱ	演	2	30	
	ゲストサービスⅠ	講	2	30	ゲストサービスⅡ	演	2	30	チャイルドオペレーションⅠ	演	2	30	チャイルドオペレーションⅡ	演	2	30	
	バリアフリー	講・演	1	15	SPT(旅行企画)	演	1	15	テーマパーク演出Ⅰ	演	2	30	テーマパーク演出Ⅱ	演	2	30	
					国内旅程管理	講	1	15									
		企業実習				実	4	120									
		小計		15	255	小計		21	390	小計		21	330	小計		21	330
	計	1年前期 計		23	375	1年後期 計		30	525	2年前期 計		26	405	2年後期 計		26	405
1年 計				2年 計				2年間 合計				52	810				

	1年前期		1年後期		2年前期		2年後期	
	科目名	区分	科目名	区分	科目名	区分	科目名	区分
行事	スタートアップセミナー		就職ガイダンス		オリエンテーション		中村学園祭	
	オリエンテーション合宿		中村学園祭		ミュージカル鑑賞			
	スポーツ大会		SPT(旅行企画)		スポーツ大会			
			サービス介助士					
				海外研修旅行				

シラバス(授業内容)

科目名	ホスピタリティⅠ/Ⅱ			担当講師	黒坂 明子
履修コマ数	前期 15コマ/後期 15コマ	授業時間数	前期 15時間/後期 15時間	単位数	前期 1単位/後期 1単位
科目区別	共通科目				
実施期間	1年次:前期・後期				
目的 及び 概要	ホスピタリティマインドとは「相手の立場に立って考え、相手を慮る心」です。 相手の存在を認め受け入れて大切にするというホスピタリティある言動が、仕事でもプライベートにおいても豊かな人間関係構築に必要不可欠です。様々なワークを通し、自身の「心の在り方」から発するホスピタリティを自然に表現できるようにサポートします。DVD鑑賞やおもてなしの実例に触れながら共に考え、ITHの教育理念に基づいた「ホスピタリティ豊かな人材の育成」のゴールを目指します。				
到達目標	あらゆるタイプの人とも上手に交流できるようになる 周りから見られている自分のイメージを確認し、自己改善を図る おもてなしの心を形にできるようになる				
授業運営 方法	演習				
教科書	ホスピタリティマインド養成ワークブック (株)ホロス人材開発研究所・高畑 吉宏)2,160円(税込)				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	ホスピタリティの理解 「プラスの視点」の重要性	ホスピタリティとは・・・ 他己紹介による自分表現 マイナス思考とプラス思考 マイナス思考に陥った場合の対処行動			8時間
	ホスピタリティマインドの確立	他者理解・他者受容 価値観とは？・グループ討議 自分の物の見方や考え方を知る 相手を受け入れることの重要性			7時間
	ホスピタリティマインドの発揮 豊かな触れ合いのために・・・	ストローク(触れ合い)の理解 ストローク演習・DVD観賞 自画像と他画像の違い・他者からの自分のイメージを知る 気づきと自己改善の勧め			9時間
	ホスピタリティサービスの本質	モノ的なサービスとヒト的なサービス・CSと顧客心理 ホスピタリティ産業について ディズニーにおけるおもてなし 「おもてなしの心」を「形」に・・・			6時間
成績 評価方法	A: 評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 50%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 50%未満、平常点不可				

シラバス（授業内容）

科目名	脳力開発Ⅰ/Ⅱ		担当講師	住友 大我	
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 15 時間	単位数	前期 1 単位/後期 1 単位
科目区別	共通科目				
実施期間	1 年次：前期・後期				
目的及び概要	社会人として心身ともに健康で活躍できるように、脳の働き（脳力）を高める実践方法を学びます。また、後期の授業内でメンタルトレーニングに関する検定試験を実施します。検定に合格した場合は、保有資格として履歴書に記載することが可能です。				
到達目標	緊張からリラックス集中への反射を形成して能力を発揮する、ストレスを成長に繋げる、モチベーションを高める、発想力を高めるなどの方法を脳の働きにもとづき理解する。				
授業運営方法	演習				
教科書	授業用教材セット 5,400 円（税込）				
検定・資格	必修受験 検定名：メンタルウェルネストレーニング基礎課程 試験日：11 月下旬予定 受験料：授業用教材セットに含む				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	メンタルトレーニング	思い方の練習（期待感と満足感を高める） 段階的リラクゼーション法（緊張からリラックスへの反射形成） 自律訓練法（リラックスした集中への反射形成）			10 時間
	ビジョントレーニング	イメージ力・認識力の強化（専用の教材を使用したトレーニング） 情報処理能力の向上（脳活ドリル） 視覚情報と身体感覚の連携強化（眼と手・身体の協調性）			10 時間
	脳力を発揮するための生活習慣	睡眠に関連する内容（疲れが取れる良質な睡眠、記憶力、発想力） 食事に関連する内容（何を、いつ、どう食べるか） 健康法の取り入れ方（効果を高めるために必要なこと）			5 時間
	脳力発揮に関する研究紹介	自己分析（エゴグラム） メンタルヘルスに関連する内容（ストレスマネジメント、体内時計） 能力発揮に関連する内容（長く活躍する人のモチベーション設定）			5 時間
成績評価方法	<p>（評価試験） A：80 点／％～、 B：70 点／％～、 C：60 点／％～、 D：60 点／％未満 （出席率） A：100％、 B：80％～、 C：60％～、 D：60％未満 （平常点） A：優、 B：良、 C：可、 D：不可</p> <p>評価試験、出席率、平常点、各 A B C D の組み合わせによる総合評価として成績をつけます。詳細は、各期の初回授業で説明します。</p>				

シラバス(授業内容)

科目名	ビジネスコミュニケーション I		担当講師	北田・橋本・須田	
履修コマ数	前期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間	単位数	前期 1 単位
科目区別	共通科目				
実施期間	1 年次:前期				
目的 及び 概要	目的:観光業界の社会人として最低限のビジネスマナーを理解・実行できる事。 概要:ビジネスシーンで誰もが当たり前に行動している挨拶や言葉遣い、接遇を学びます。				
到達目標	1 年次夏休みの実習や後期から開始される就活で、自信をもって行動できるようになる。				
授業運営 方法	講義・演習				
教科書	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社 1,404 円(税込)				
検定・資格	※検定対策ではありませんが、秘書検定やジョブパス検定などの任意受験を推奨します。				
<授業計画>					
テーマ		授業内容詳細			授業時間
挨拶と人間関係		挨拶の重要性 第一印象の重要性 相手に良い印象を与えるコツ			2 時間
社会人心得		自己管理・4つのポイント 社会人としてのルール 報告・連絡・相談			2 時間
敬語を使いましょう		敬語の種類 正しい敬語の使い方 接遇用語の表現 接遇の立ち振る舞い(受付、名刺の受け取り方)			5 時間
実践！ビジネスコミュニケーション		上手な聞き方、話し方 命令・指示、忠告・注意の受け方 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方 領収書の記入方法			6 時間
成績 評価方法	A: 評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 30 点以上、出席率 50%以上、平常点可 D: 評価試験 30 点未満、出席率 50%未満、平常点不可 ※評価試験には期末試験の他、 演習試験や小テストを含みます。				

シラバス (授業内容)

科目名	Let's Speak English I/II		担当講師	語学担当講師	
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 15 時間	単位数	前期 1 単位/後期 1 単位
科目区別	共通科目				
実施期間	1 年次：前期・後期				
目的及び概要	「英語で外国人と会話が出来たら…」ちょっとしたスキルとちょっとした勇気で、それは誰にでも実現可能なことです。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して練習していきます。クラスはレベル別に分かれますが、どのクラスも授業は出来る限り English Only で進めます。				
到達目標	日常的な話題について、シンプルな英語でコミュニケーションをとることが出来る。異なる国や文化の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとすることが出来る。				
授業運営方法	演習				
教科書	American Headway Level1 (Oxford 出版) 3456 円 (税込)				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	Unit 1 You and me	自己紹介			5 時間
	Unit 2 A good job!	職業について話す			5 時間
	Unit 3 Work hard, play hard! Speaking Test	インタビュー、アンケート 1 人ずつ Speaking Test を実施			5 時間
	Unit 4 Somewhere to live	住まいについて説明する			5 時間
	Unit 5 Super me!	自分自身の能力 (出来ること) について話す			5 時間
	Unit 6 Life's ups and downs Speaking Test	感情表現 1 人ずつ Speaking Test を実施			5 時間
成績評価方法	A : 評価試験 (理解度) 80%以上、出席率 80%以上、平常点優 B : 評価試験 (理解度) 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C : 評価試験 (理解度) 50%以上、出席率 50%以上、平常点可 D : 評価試験 (理解度) 49%以下、出席率 49%以下、平常点不可				

シラバス(授業内容)

科目名	キャリアデザイン I・II		担当講師	就職担当
履修コマ数	前期 30 コマ/後期 75 コマ	授業時間数	前期 30 時間/後期 75 時間	単位数 前期 2 単位/後期 5 単位
科目区別	共通科目			
実施期間	1 年次:前期・後期			
目的 及び 概要	<p>専門学校への入学は、就職を大前提とした各人の進路を見出すことが大きな意義です。そして就職をする上で最も重要なことは自分を知ることです。当授業では、職業人としての心構えを身につける他、ツールを使用した自己分析や社会の中での自分の強みや他者理解を学びます。</p> <p>夏以降にスタートする就職活動の準備や必要事項を学び、演習を通じて就職活動本番で結果を出せるように自信をつけられる授業とします。就活は各自の目指す業界、企業により開始時期が違いますので授業をベースとしながら個々の進行に応じ個別にバックアップし内定に向けサポート致します。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1、社会人へのステップに繋がる職業人としての基礎知識とマインドを身につける。 2、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ自分の強みを学ぶ。 3、就職活動の基本的な考え方を理解し、実践に備える。 4、内定を勝ち取るためのあらゆる準備を進め、就職活動を通じて社会で通用する人材を目指す。 			
授業運営 方法	座学、演習			
教科書	「LIFO テキスト」(株ビーコンラーニングサービス)2,160 円、 「個人レポート」(株ビーコンラーニングサービス)540 円 「質問紙」(株ビーコンラーニングサービス)1,080 円 「就職活動テキスト CAREER ADVICE TEXT」(インテリジェンス)1,620 円			
検定・資格				
<授業計画>				
テーマ	授業内容詳細			授業時間
職業とキャリア	人はなぜ働くのか？仕事と職業、職業の三要素、働くことの意義と目的 職業の形態と種類、職業選択と自分がめざす生き方、職業人としてのマインド、 生活の自立と自律、最近の社会事情			10 時間
自己理解	LIFOの基本的考え方の理解、コミュニケーションと自己理解の関係、 自己理解 3 つの方法、自己点検実施と発表、ライフライン記入、 自己分析シート記入、LIFO(ライフォ)質問紙記入と採点、 4 つのスタイルの具体的理解、診断分析、個人レポート作成、自分の強みの整理、 自己分析シート(強みの過剰使用)への落とし込み、4 つのスタイルとアプローチ、 失敗経験と分析、自分のスタイルと他者スタイルの理解			20 時間
就職活動実践	就活の流れ、就活サイト登録と使用方法、企業研究方法、雇用形態について、 社会保険、自己分析の目的、過去から現在の自分の分析、将来の自分を考える、 ジョハリの窓、他己分析、自己 PR 作成、履歴書・ES 作成ポイント、企業研究、 面接演習、GP ワーク試験対策、小論文演習、SPI 対策と模擬試験演習			75 時間
成績 評価方法	A:出席率 90%以上 平常点優 B:出席率 75%以上、平常点良 C:出席率 50%以上、平常点可 D:出席率 50%未満、平常点不可 *平常点には、就職活動(進路活動)、授業態度、提出物などが含まれます。			

シラバス(授業内容)

科目名	パソコン			担当講師	愛澤 純子
履修コマ数	前期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間	単位数	前期 1 単位
科目区別	共通科目				
実施期間	1 年次:前期				
目的 及び 概要	現代社会において、パソコンは必須です。ツールとしてパソコンを使いこなすことは勿論、入力速度も重要なポイントです。本授業では、入力速度アップを図りながら、ワード・エクセルなどの基本操作を理解し、実際に例題を作成しながら操作方法を習得することを目的とします。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入力速度においてはP検3級以上(40 点以上)を目標とする。 2. ワードを使って書式を整えた文書が作成できること。 3. エクセルを使って作表や簡単な計算やグラフ作成ができること。 4. e-mail を使って、添付ファイル等が送付できること。 				
授業運営 方法	演習				
教科書	「30 時間アカデミック情報リテラシー Office2010」(実教出版)1,337 円(税込) USB メモリ 850 円(税込)				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
テーマ		授業内容詳細			授業時間
入力測定(第 1 回) WINDOWSの基礎知識と MSIMEの操作		<ul style="list-style-type: none"> ● 入力測定テスト(1 回目) ● 概要とファイル操作 ● MSIMEを使用した言語入力操作の習得 			2時間
ワードによる文書作成		<ul style="list-style-type: none"> ● 入力練習 ● ワードの基礎知識の理解 ● 文書作成 ● 表作成とページ罫線の操作と習得 ● 図形描画を使った文書作成 			5時間
エクセルによる表計算		<ul style="list-style-type: none"> ● 入力練習 ● エクセルの基礎知識の理解 ● 作表と表計算の習得 ● グラフ作成 ● データベース機能の理解 			5時間
e-mail 操作 入力測定(第 2 回)		<ul style="list-style-type: none"> ● フリーメールアドレスの取得 ● メール送信と CC・BCC の理解 ● 添付ファイルの送付 			3時間
成績 評価方法	A: 評価試験 90 点以上、出席率 90%以上、課題評価優、平常点優、入力測定 40 点以上 B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、課題評価良、平常点良、入力測定 40 点以上 C: 評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、課題評価可、平常点可、入力測定 40 点以上 D: 評価試験 59 点以下、出席率 59%以下、課題評価不可、平常点不可、入力測定 39 点以下 【入力測定】 2 回目の入力測定39点以下は課題を提出すること。				

シラバス (授業内容)

科目名	就職筆記対策Ⅰ/Ⅱ			担当講師	松橋 功
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 15 時間	単位数	前期 1 単位/後期 1 単位
科目区別	共通科目				
実施期間	1 年次、前期/後期				
目的及び概要	日本の多くの企業が就職採用試験で実施している筆記テストの対策授業。 就職試験に用いられるテストには、企業が独自で作る一般常識などのテストのほかに、専門業者が開発・販売している適正検査がたくさんあります。当授業では、日本で最も多く使われている採用テストである SPI (リクルート販売商品) 対策を中心に行います。就職筆記試験は、問題量が多く、解ききれないくらい出題されるケースもありますが、問題レベルはそれほど高いわけではありません。対策すれば必ず点数は上がります。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動における採用試験の“絞り込み”に勝ち残る基礎学力を身につける。 ・仕事をする上で必要な基礎学力を身につける。 				
授業運営方法	講義・演習・実技・実習				
教科書	入学後、クラス分けに応じたテキストを購入 (1,500 円程度)				
検定・資格	無し				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	非言語能力対策	推論 順列・組み合わせ 確率 速度算 集合			26 時間
	言語能力対策	漢字の書き取り・読み 二語の関係 語句の意味			4 時間
成績評価方法	A : 出席率 80%以上、平常点良好、授業内期末試験 80 点以上 B : 出席率 80%以上、平常点良好、授業内期末試験 60 点以上 C : 出席率 50%以上、平常点良好、授業内期末試験 40 点以上 D : 出席率 50%未満、平常点不良、授業内期末試験 40 点未満				

シラバス（授業内容）

科目名	Theme Park English I・II（テーマパーク科）			担当講師	眞館 尚子
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 15 時間	単位数	前期 1 単位/後期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次： 前期・後期				
目的及び概要	テーマパークで働く上で必要な基本的な英単語・英語表現を学び、グループワークやロールプレイにより実践的な英会話の獲得を目指します。				
到達目標	テーマパークで働くうえで必要な英語表現の獲得				
授業運営方法	演習				
教科書	なし				
検定・資格	なし				
＜授業計画＞					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	お出迎えとチケット売り場	<ul style="list-style-type: none"> ・お出迎え時に使う英語表現 ・チケット売り場で必要な英語表現 ・ショーやアトラクションの休演・休止の案内 			7 時間
	園内での案内	<ul style="list-style-type: none"> ・レストランやアトラクションの場所を案内する ・ファストパスやプライオリティシートの案内 ・待ち時間や注意事項の案内に必要な英語表現 			8 時間
	ショー開催の案内	<ul style="list-style-type: none"> ・ショーの場所と開始時間の案内 ・ショー休演の案内 ・ショー開園中に必要な英語表現 ・ショー開園中の歩行者に対する案内 			7 時間
	レストラン	<ul style="list-style-type: none"> ・先に料金を支払うレストランでの英語表現 ・フードコートでよく使われる英語表現 ・オーダーが必要なレストランでの英語表現 ・会計時に必要な英語表現 			8 時間
成績評価方法	<p>A：授業理解度 80%以上、出席率 80%以上、平常点：優</p> <p>B：授業理解度 60%以上、出席率 70%以上、平常点：良</p> <p>C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点：可</p> <p>D：授業理解度 39%以下、出席率 59%以下、平常点：不可</p>				

シラバス (授業内容)

科目名	観光業界ガイド			担当講師	矢野・立石・茂野
履修コマ数	前期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間	単位数	前期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次：前期				
目的及び概要	<p>将来、観光業界で働きたいと希望している学生に対し、観光業界ってどのような仕事があるのか？どのような会社があるのか？を学んでいただきます。</p> <p>特に1年生後期から就職活動がスタートしますので実際の就職活動を見据え、“幅広い業界知識”を身に付けます。</p> <p>お客様に一生に一度の「感動」を約束する仕事、それが観光業です。</p> <p>夢に向かって業界について学んでいきましょう。</p>				
到達目標	後期の業界受験対策や就職活動に向けて、実際の企業や求人を確認しながら将来を決めていく準備を行い、より自分に合った就職先・業界を見つけてもらいます。				
授業運営方法	講義				
教科書	なし (別途プリント等を用意)				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	観光業界を知る！	授業の目的を確認した上で、観光業界全体像を把握し各業界との結びつきや関係性を理解してもらう。			3 時間
	仕事・会社の種類を知る！	各業界の職種、主な業務内容を把握し会社名や各会社の特徴を捉えて目指す会社を決めるための知識を得てもらいます。 また各業界の卒業生を呼んで、現在行っている職種や会社の事を聴く機会を設けます。			6 時間
	業界知識を学ぶ！	テーマパーク研修を通してスタッフとして必要な知識やスキルを学び業界について詳しく理解する。 職場へ入った時に最低限の内容は理解できるようにしましょう。			6 時間
成績評価方法	<p>A：評価試験 70 点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B：評価試験 50 点以上、出席率 50%以上、平常点良</p> <p>C：評価試験 30 点以上、出席率 50%以上、平常点可</p> <p>D：評価試験 30 点未満、出席率 50%未満、平常点不可</p>				

シラバス（授業内容）

科目名	基礎ダンス演習		担当講師	後藤 大	
履修コマ数	前期 30 コマ/	授業時間数	前期 30 時間	単位数	前期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次：前期				
目的及び概要	テーマパークではキャストの接客もショーの一部。接客によるエンターテインメントの重要性、接客での動作における身のこなしなど、ダンスを通し習得する。テーマパーク、児童施設などでのレクリエーションダンスの指導法の習得。ストレッチ運動、リズム運動、ダンス基礎の習得。				
到達目標	テーマパークでの接客実技の習得。 レクリエーションダンス指導の習得、発表。 ダンス基礎、実技の習得、発表。				
授業運営方法	演習				
教科書	なし				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
テーマ	授業内容詳細			授業時間	
テーマパークダンスの研究	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークではどのようなショー（ダンス）が行われているのか、テーマパークのショー（ダンス）と接客の共通点を探し、映像を見ながら研究 ・ダンス研究による確認試験の実施 			10 時間	
ダンス基礎 ダンスを踊る為の身体作り	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォームアップ ・ストレッチ ・リズムの取り方 ・振付 			10 時間	
ダンス振付	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークの曲に合わせ振付を踊る ・振付完成後発表 			10 時間	
成績評価方法	<p>A：評価試験 70 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 50 点以上、出席率 50%以上、平常点良 C：評価試験 30 点以上、出席率 50%以上、平常点可 D：評価試験 30 点未満、出席率 50%未満、平常点不可</p>				

シラバス（授業内容）

科目名	レクリエーション実務Ⅰ・Ⅱ		担当講師	高橋、鈴木 他	
履修コマ数	前期 30 コマ/後期 30 コマ	授業時間数	前期 30 時間/後期 30 時間	単位数	前期 2 単位/後期 2 単位
科目区別	共通科目				
実施期間	1 年次：前期・後期				
目的及び概要	<p>ちょっとした時間に、キャストとの距離を縮めることができるスキルを体得出来たら楽しいと思いませんか？「レクリエーション=生活を豊かにすること」レクリエーション活動=生活を豊かにするためのアクティビティ」をさします。アクティビティ指導・支援のスキルを体得することで、キャストに感動を分かち合うこと・提供することの必要性・重要性を知ることによってレクリエーション活動（アクティビティ）支援内容を組み立てる楽しさを知ることができます。レクリエーションインストラクター、レクリエーションコーディネーター、福祉レクリエーションインストラクター スポーツレクリエーション指導員など有資格者が 観光 テーマパーク等で活躍しています</p> <p>楽しさ、心地よさを活かし、心の元気を考えるための理論と実践を学ぶ授業です。</p>				
到達目標	<p>「人前で話す、演じること」が緊張感なく堂々とできるようにする。</p> <p>レクリエーション（ゲーム指導・支援）の発表が、一人でできるようにする。</p>				
授業運営方法	演習				
教科書	随時 レジュメを配布				
検定・資格	なし レクリエーションインストラクター、				
＜授業計画＞					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	レクリエーションとレクリエーション活動について知る	レクリエーション活動の体験を通して、レクリエーションとレクリエーション活動の違いを理解し、様々な対象にあわせたレクリエーション活動について体験する。 (乳幼児 学童期 青年期 壮年期 高齢期など)			8 時間
	レクリエーション支援の理論	楽しさの先にあるレクリエーションを考えるためにさまざまな理論を学ぶ。乳幼児・学童期・青年期・壮年期・高齢期などにおける各段階の心理や特性、対応について学び、集団づくりや主体性を育む支援を考える。			16 時間
	レクリエーション支援の方法	アイスブレーキングやさまざまなレクリエーション活動を体験し、対象者に合わせたレクリエーション支援ができるような様々な技術を習得する。模擬実施などを行い、支援者として立ち振る舞うことができるようにする。			20 時間
	レクリエーション支援演習	様々なレクリエーション活動支援における、事業計画、安全対策 リスクマネジメントなどを学ぶ。 支援実習 実地研修をおこなう。			16 時間
成績評価方法	<p>A：評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、提出物、平常点優</p> <p>B：評価試験 50 点以上、出席率 70%以上、提出物、平常点良</p> <p>C：評価試験 30 点以上、出席率 50%以上、提出物、平常点可</p> <p>D：評価試験 30 点未満、出席率 50%未満、提出物、平常点不可</p>				

シラバス（授業内容）

科目名	バルーンアートⅠ/Ⅱ			担当講師	西田 眞子
履修コマ数	前期 30 コマ/後期 30 コマ	授業時間数	前期 30 時間/後期 30 時間	単位数	前期 2 単位/後期 2 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次：前期・後期				
目的及び概要	マジックバルーンの基本的な作品の制作を行い、お客さまにバルーンを楽しませながら作り、渡すスキルを学ぶ。様々なシチュエーションでゲストとのコミュニケーションツールとして利用できるようにする。				
到達目標	ツイストバルーン1本で作れるものから始め、複数本組み合わせで出来上がる作品を作る。ゲストに対応してのバルーン作りと楽しませるスキルを学び、実践する。				
授業運営方法	演習・実技				
教科書	なし				
検定・資格	なし				
＜授業計画＞					
テーマ	授業内容詳細				授業時間
単独作品を制作	マジックバルーンの簡単なフィギア等を学ぶ。簡単なフィギア等のレパトリーを増やす。				20 時間
複合作品の制作	マジックバルーン数本使ったフィギア等のレパトリーを増やす。 編みこみの基本的なやり方を学ぶ。(カゴ、帽子など) ディズニーキャラクターバルーン制作				20 時間
オリジナル作品の制作	オブジェの制作方法・ダウンサイズの制作方法・フレームの説明・デザインの説明のもと編みこみを応用して、オブジェを制作 学園祭に向けてクラスターバルーンによるアーチ制作 ラウンドバルーンを通してオリジナルオブジェの制作 年末は季節館をだす小さなサンタ・スノーマンなど政策				20 時間
成績評価方法	A：評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 60 点以上、出席率 50%以上、平常点良 C：評価試験 40 点以上、出席率 50%以上、平常点可 D：評価試験 40 点未満、出席率 50%未満、平常点不可				

シラバス（授業内容）

科目名	接客手話Ⅰ・Ⅱ		担当講師	飯塚 佳代	
履修コマ数	前期 30 コマ/後期 30 コマ	授業時間数	前期 30 時間/後期 30 時間	単位数	前期 1 単位/後期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次：前期・後期				
目的及び概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期は 5 級の単語学習中心におこない、後期は 4 級単語学習を行う。聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話でのコミュニケーションがとれるようにする。				
到達目標	1 年次においては手話検定 4 級レベルを目指す。				
授業運営方法	演習・実技				
教科書	NPO 手話技能検定協会 手話技能検定公式テキスト 3・4 級				
検定・資格					

<授業計画>

テーマ	授業内容詳細	授業時間
日常生活に必要な基本を学習Ⅰ	挨拶、天候、名前の学習、数字、暦・曜日、週・年、家族、色、方角、感情・動作、指文字などを学習する。	30 時間
日常生活に必要な基本を学習Ⅱ	疑問と時間、程度を示す単語、基本動詞、形容詞、いろいろな質疑応答、接客手話などを学習する。	20 時間
日常生活に必要な基本を学習Ⅲ	手話で行う歌や検定対策に向けて過去問題の学習を行う。	10 時間
成績評価方法	A：評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 60 点以上、出席率 50%以上、平常点良 C：評価試験 40 点以上、出席率 50%以上、平常点可 D：評価試験 40 点未満、出席率 50%未満、平常点不可	

シラバス（授業内容）

科目名	エンターテイメントメイクⅠ/Ⅱ			担当講師	塚田 たみ子
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 15 時間	単位数	前期 1 単位/後期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次：前期・後期				
目的及び概要	社会人の身だしなみとして、好感度をアップするメイクアップの技術を学びます。 エンターテイナーとしてのパフォーマンスに欠かせない様々なメイクアップを体験し、 目的やシーンに応じて活用できるよう、実習を通して学びます。				
到達目標	目的に応じたメイクアップが自分でできるようになり、イベント時などに応用できる。				
授業運営方法	演習				
教科書					
検定・資格	なし				
＜授業計画＞					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	201	オリエンテーション カラーコーディネート理論を理解し、メイクアップに応用する リクルートメイクアップ 実習を通して、自分自身の良さを生かし、 好感度を上げるメイクアップ技術を学ぶ			6 時間
	フェイス&ボディーペイント	筆の使い方 基本ラインの描き方、 ワンポイントアート アニマルメイクアップ クラウンメイクアップ ハロウィンメイクアップ 等 の技術を学ぶ			12 時間
	ボディージュエリー ヘナ・タトゥー	材料や道具の扱い方を知り、 各方面で人気の高い ボディージュエリーを美しく描く技術を学ぶ ヘナ・タトゥーの意味、作り方、扱い方などを知り、 一時的なタトゥーとして、 美しい模様を描く技術を学ぶ			12 時間
	実技テスト実施	1 年間を通じ、フェイス&ボディーペイント、ボディー・ジュエリー、ヘナ・タトゥーの実技テストの実施			
成績評価方法	A：授業内期末試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業内期末試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良好 C：授業内期末試験 50 点以上、出席率 50%以上、平常点可 D：授業内期末試験 50 点未満、出席率 50%未満、平常点不可				

シラバス（授業内容）

科目名	テーマパーク研究Ⅰ/Ⅱ			担当講師	企業/茂野
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 15 時間	単位数	前期 1 単位/後期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次：前期・後期				
目的及び概要	テーマパーク業界の基本知識を講義形式で習得した後、テーマパーク業界企業様にて実地研修・実習を行う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマパーク業界の形態、サービス内容の把握 ・企業コンプライアンスの周知 ・テーマパーク業の挨拶、ご案内の一時対応 ・企業実習服務規程の順守 				
授業運営方法	演習				
教科書	無し				
検定・資格	なし				
＜授業計画＞					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	テーマパーク内での接客マナー	<ul style="list-style-type: none"> ・勤怠、報告・報告・連絡・相談、業務態度心構え ・テーマパークに応じた服装身だしなみ ・卒業生が活躍するテーマパーク業界と業界の現状 			2 時間
	テーマパーク基本講義	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークのテーマを研究する ・テーマパーク現地視察・現地講義、 ・業実習への準備、面接のポイント ・業界最新事情紹介 			13 時間
	テーマパーク業界企業内講義	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークサービス形態、サービス内容の把握 ・業界業務内容、実態講義 			6 時間
	テーマパーク業界企業内演習	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様への挨拶 ・テーマパークのご案内 ・お客様準備までの業務、専用機器の基本操作 ・お子さまに対する対応、アクティビティの補佐 			9 時間
成績評価方法	<p>A：評価試験 70 点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B：評価試験 50 点以上、出席率 50%以上、平常点良</p> <p>C：評価試験 30 点以上、出席率 50%以上、平常点可</p> <p>D：評価試験 30 点未満、出席率 50%未満、平常点不可</p>				

シラバス（授業内容）

科目名	パークオペレーションⅠ/Ⅱ（テーマパーク科）		担当講師	石神直人	
履修コマ数	前期 30 コマ・後期 30 コマ	授業時間数	前期 30 時間/後期 30 時間	単位数	前期 2 単位/後期 2 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次：前期・後期				
目的及び概要	テーマパークでは様々な職種が存在し、接客スキル・一般知識・柔軟性等幅広い技能や知識が必要です。授業前半では業界の研究やアトラクションのセリフ演習の実技、エンターテイメントの初歩実技。後半ではクレーム対応などテーマパークで起こりうる対応演習をケーススタディー等を交え行います。				
到達目標	テーマパークで起こりうるあらゆるゲスト対応に柔軟に対応できる能力を身に着ける。				
授業運営方法	演習				
教科書	なし				
検定・資格	なし				
＜授業計画＞					
テーマ	授業内容詳細			授業時間	
接客技能	サービス接客 2 級レベルの知専門知識（一般知識、対人技能、）を中心とし、テーマパーク業界に置き換え講義・演習を行う。			6 時間	
業界研究	テーマパーク業界の基本知識、就業体系、テーマ研究・顧客満足施策をテーマに講義			6 時間	
ケーススタディー	テーマパークでの賛辞・クレームを中心にグループ討議を行い、無数にある正解の中からグループでの答えを導き出す。			6 時間	
実技演習	テーマパークスタッフにおける実技（アトラクションスピール、パフォーマンス演習等）・顧客対応（クレーム対応、イレギュラー対応等）の演習を行う。			10 時間	
確認テストの実施	・サービス接客講義、ケーススタディーの知識を元に確認テストの実施。 ・テストのフィードバックの実施。			2 時間	
成績評価方法	A：授業内期末試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点優 B：授業内期末試験（理解度）50%以上、出席率 70%以上、平常点良 C：授業内期末試験（理解度）30%以上、出席率 50%以上、平常点可 D：授業内期末試験（理解度）30%未満、出席率 50%未満、平常点不可				

シラバス（授業内容）

科目名	ゲストサービスⅠ・Ⅱ			担当講師	高橋 清美
履修コマ数	前期 30 コマ・後期 30 コマ	授業時間数	前期 30・後期 30 時間	単位数	前期 2 単位・後期 2 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次：前期・後期				
目的及び概要	しっかりと声を出し、滑舌を良くする。発声トレーニングを学習し、感じの良い話し方を身につける。一般常識を学び、更には心地よいサービスの提供を考える。				
到達目標	笑顔で人前で話ができるようになる。相手を思いやり、感じの良い接客マナーを身に付ける。				
授業運営方法	講義				
教科書	思いが伝わる話し方・しぐさが身に付く本（ぱる出版）：1,404 円（税込）				
検定・資格	なし				
＜授業計画＞					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	・ 接客マナーⅠ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発声練習を通し、感じよく人前で自信を持って話す。 ・ 笑顔のトレーニング、コミュニケーションしぐさを身に付け、社会人として相応しい接客対応を行う。 			30 時間
	・ 接客マナーⅡ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に対する思いを口にして心地良い接客マナーを学ぶ。 ・ 言葉の使い方、お客様の対応、食卓マナーお茶の入れ方等を学び一般常識のマナーを学ぶ。 			30 時間
成績評価方法	<p>A：評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C：評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験 30 点未満、出席率 50%未満、平常点不可</p>				

シラバス (授業内容)

科目名	バリアフリー		担当講師	雨宮 めぐみ	
履修コマ数	前期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間	単位数	前期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次 : 前期				
目的及び概要	「サービス介助士資格取得講座」に向けて、興味を持って取り組めるよう、またスムーズに資格取得講座に入れるよう事前学習を行います。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス介助の必要性に気づく (社会の現状と人の多様性を知る) ・介助される体験を通して、相手の不安を知り、お手伝いの必要性に気づく 				
授業運営方法	演習				
教科書	なし				
検定・資格	サービス介助士 (公益財団法人 日本ケアフィット共育機構) 検定取得を目指す。				
<授業計画>					
テーマ	授業内容詳細				授業時間
・オリエンテーション ・社会の現状を知る ・サービス介助士とは	高齢社会の現状を知る (高齢化率、平均寿命、少子化) 社会の法整備について (バリアフリー新法、障害者差別解消法) サービス介助士の必要性 申込みから資格取得まで				2 時間
サービス介助士に必要な考え方とスキル	ホスピタリティ・マインドの概要と解説 ノーマライゼーションの概要と解説 接遇 (おしゃれと身だしなみの違い、接遇の必要性)				3 時間
高齢者について	加齢による機能低下 (具体的な機能低下を知る) 介護保険と社会 (社会の仕組みと現状を考える) 将来に向けて				3 時間
相手の立場を体験する	車いす使用者 (座る・押す体験からの気づきを共有し、介助の必要性を知る) 妊婦 (疑似体験により不便を知って、どんな介助が必要か考える) 視覚障がい者 (案内される体験から不安を知って安心できる案内について考え実践する)				3 時間
聴覚障害とは	聴覚障害とは 不便な生活を想像する コミュニケーションワークショップ				1 時間
特別授業	介助犬訓練士による特別授業② 介助犬のデモから、車いす使用者の不便を想像する				1 時間
自立支援	身体障害者補助犬法の概要と解説 ユニバーサルデザインとバリアフリーの概要と解説				1 時間
まとめ	確認テスト まとめ				1 時間
成績評価方法	A : 授業内期末試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点良好 B : 授業内期末試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点良好 C : 授業内期末試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点普通 D : 授業内期末試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点不良				

シラバス（授業内容）

科目名	中国語 I		担当講師	張 翼飛	
履修コマ数	後期 15 コマ	授業時間数	後期 15 時間	単位数	後期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次：後期				
目的及び概要	海外のお客様で人数が多い中国語圏のお客様に初歩的な接客応対ができるように仕事で使える中国語会話のフレーズの習得を行う。				
到達目標	テーマパークでよく使われる会話を中国語で話せるようにする。				
授業運営方法	講義				
教科書	中国語の初歩の初歩				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細		授業時間	
	中国語概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンインと四声の練習、あいさつ、 ・母音と子音の発音練習 ・返事、呼びかけと許可を得る言葉 ・基本の単語 ・自己紹介 		4 時間	
	基本文法	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞述語文 ・動詞述語文 ・形容詞述語文 		4 時間	
	基本表現	<ul style="list-style-type: none"> ・場所を尋ねる時の表現 ・したいと希望を表す場合の表現 ・物があるかどうかを尋ねる時の表現 		4 時間	
	テストと復習	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語概要、基本文法、基本表現のテスト ・テストのフィードバック。 		3 時間	
成績評価方法	<p>A：授業内期末試験 90 点以上、出席率 85%以上、平常点良好</p> <p>B：授業内期末試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良好</p> <p>C：授業内期末試験 50 点以上、出席率 50%以上、平常点可</p> <p>D：授業内期末試験 50 点未満、出席率 50%未満、平常点不可</p>				

シラバス（授業内容）

科目名	ダンス演習Ⅰ		担当講師	後藤 大	
履修コマ数	後期 30 コマ	授業時間数	後期 30 時間	単位数	後期 2 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次：後期				
目的及び概要	テーマパークではキャストの接客もショーの一部。接客によるエンターテイメントの重要性、接客での動作における身のこなしなど、ダンスを通し習得する。テーマパーク、児童施設などでのレクリエーションダンスの指導法の習得。ストレッチ運動、リズム運動、ダンス基礎の習得。				
到達目標	テーマパークでの接客実技の習得。 レクリエーションダンス指導の習得、発表。 ダンス基礎、実技の習得、発表。				
授業運営方法	演習				
教科書	なし				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	ダンス基礎 ダンスを踊る為の身体作り	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォームアップ ・ストレッチ ・リズムの取り方 ・振付 			10 時間
	ダンス振付	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークの曲に合わせ振付を踊る ・振付完成後発表 			10 時間
	レクリエーションダンス (ゲスト参加型ダンス) 指導法 ダンス発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションダンス (ゲスト参加型ダンス) 指導実施 ・レクリエーションダンス創作 ・ダンス振付、レクリエーションダンスを含めたショーの発表 ・ダンス演習・理解度試験実施 ・ダンス研究による確認試験の実施 			10 時間
成績評価方法	<p>A：評価試験 70 点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B：評価試験 50 点以上、出席率 50%以上、平常点良</p> <p>C：評価試験 30 点以上、出席率 50%以上、平常点可</p> <p>D：評価試験 30 点未満、出席率 50%未満、平常点不可</p>				

シラバス（授業内容）

科目名	旅行企画 (SPT) I		担当講師	企業/立石	
履修コマ数	後期 15 コマ	授業時間数	後期 15 時間	単位数	後期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次：前期・後期				
目的及び概要	<p>少人数のグループに分かれてテーマパーク旅行の企画・プレゼンテーションを行い、そして旅行企画が採用されれば実際にその旅行に行く SPT (Self Produce Travel)。</p> <p>旅行会社のアウトセールスを体系的に学びながら、ツアープランニング基礎・地理の補足説明や簡単なプレゼンテーションの仕方、観光業の考え方を学びます。</p>				
到達目標	<p>グループワークを基本として、商品としての「テーマパーク旅行」を作成することにより、観光業務全般の基礎を学びます。また、人前で自分たちの企画を発表することにより自主性や相手の立場に立った行動（お客様目線）を理解し、将来ホスピタリティ業界で働く上での基礎としてほしいです。</p>				
授業運営方法	演習				
教科書	なし（適宜プリント、資料を用意）				
検定・資格	なし				
＜授業計画＞					
	テーマ	授業内容詳細		授業時間	
概略の説明		<p>SPT（旅行企画）概要説明</p> <p>過去優勝作品の紹介、作業の進め方・企画の考え方の説明</p>		3 時間	
基礎知識の習得		<p>距離計算、収支計算、テーマ作成に当たっての注意</p> <p>ツアープランニングの補足説明、ツアー作成のポイント説明</p>		2 時間	
グループワーク① (企画・打ち合わせ・振り返り)		<p>グループ分け、ツアーテーマ仮決定、意見交換会議</p> <p>打合せ内容を基にツアーテーマの最終決定</p> <p>決定したツアーテーマでの行程表作成</p> <p>決定したツアーテーマでの施設手配準備、料金の確認</p>		5 時間	
グループワーク② (発表内容の検討、準備)		<p>各グループのプレゼン内容の検討、再構成</p> <p>パワーポイントの作成、企画発表準備</p> <p>プレゼンシミュレーション、資料作成</p>		5 時間	
成績評価方法	<p>A：評価試験 70 点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B：評価試験 50 点以上、出席率 50%以上、平常点良</p> <p>C：評価試験 30 点以上、出席率 50%以上、平常点可</p> <p>D：評価試験 30 点未満、出席率 50%未満、平常点不可</p>				

シラバス（授業内容）

科目名	国内旅程管理		担当講師	講師/立石	
履修コマ数	後期 15 コマ	授業時間数	後期 15 時間	単位数	後期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	1 年次：後期				
目的及び概要	<p>「旅行業約款」は国家試験内容ですが、こちらは夏季休暇中に実施する旅程管理研修に絞って約款の内容を過去のクレーム事例を交えて総合的に学習する科目です。</p> <p>資格取得に必要な知識や法律を勉強しながら実際の添乗での現場で発生するトラブルを解決するために必要な情報を具体例に確認しながら約款の文章も勉強していきます。</p> <p>テーマパーク業界にも必要な表現力やコミュニケーション力を発揮しながら資格取得を目指す。</p>				
到達目標	夏季休暇に実施する国内旅程管理主任者研修の合格、もしくはそれに準ずるレベルの理解				
授業運営方法	講義				
教科書	なし（適宜プリントを使用します）				
検定・資格	なし 検定・資格名：国内旅程管理者研修 試験日：9月頃実施 受験料：22,000 円				
＜授業計画＞					
	テーマ	授業内容詳細		授業時間	
	約款（基礎知識・定義）	標準旅行業約款、標準旅行業約款の構成 適用範囲、特約、用語の定義、手配代行者、通信契約		3 時間	
	募集型企画旅行 （団体・書面・契約の解除 旅程保証・特別補償規定）	契約の申込み、拒否事項、契約書面と確定書面の流れ、 確定書面の交付期限、契約内容の変更、旅行代金の変更、 旅行者の交替、旅行者の解除権、旅行業者の解除権、払い戻し、 旅程管理、旅行業者の指示、添乗員等の業務、 保証対象外の事由、変更補償金の支払い、参加中の定義 種類と補償額		9 時間	
	トラブル事例の検証	過去のクレーム事例を参考にしつつ、約款を交えて対応を検討し 実際に発生した場合のケーススタディを考えます。		3 時間	
成績評価方法	A：評価試験 70 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 50 点以上、出席率 50%以上、平常点良 C：評価試験 30 点以上、出席率 50%以上、平常点可 D：評価試験 30 点未満、出席率 50%未満、平常点不可				